

第二六號

部内日日命令

一月二十七日六〇里

暗號班勤務

陸軍一等兵 伊原八郎

陸軍上等兵ヲ命ス

陸軍技術軍曹 飯田修

陸軍兵長 森武治

陸軍上等兵 椋本久雄

同 明石雄吉

陸軍一等兵 伊藤繁之

兵器補修整備ノ為本二十七日ヨリ四泊ノ豫定ヲ以テ石第三五九七部隊ニ出張ヲ命ス

衛人(雜仕) 山里トシ  
同(公仕) 諸見里 静子

依願解傭ス

一月三日	別紙左記命令ヲ下達ス
一六度	部内日日命令第ニ七號
一三度	三衛兵隊加藤曹長以下二十名掩蔽壕増強作業ヲ實施ス
令里	三部内日日命令第ニ六號ニヨリ司令部勤務ヲ免セラレタル
行	西山中尉及傳令馬場二等兵八名晝食後原隊ニ復歸ス
演習	四週番士官尾形少尉計畫ノ下ニ火災呼集演習ヲ實施セシメ消防具不備ノタメ成果擧交管理班ニ於テ直ニ之ヲ整備ニ勉ム
勤	五訂隊衛兵 小川兵長以下五名
	待機壕衛兵 足立上等兵以下五名
入馬數	六本日於テ九人馬數
	人員 將 枝六 准下官ニ五兵二九
	判官一 備人四 計一五六
	馬匹 日本馬一四





勤勞交代	防疫	入院	遺骨護送員	首命	最高	最低	月
六副官部勤勞獨歩兵第六隊徳田一等兵ハ勤勞ヲ免ゼラレタ	五炊事勤勞員大西伍長以下十五名ノ <sup>苗</sup> 檢索ヲ醫務室ニ於テ實施ス	四衛兵隊梅田上等兵ハ診斷ノ結果熱發ノ疑ヲ以テ第六十二師團野戰病院ニ入院ス	三一分内地還送遺骨護送員田中曹長(赤謀部)村越上等兵(石四三三)ハ出發ノ爲メ九〇〇護國寺ニ於テ護送員長ノ指揮ニ入ル	石兵團日日命令第一六號 部内日日命令第一八號	合同慰靈祭ニ参列ノ爲メ席シニ二〇〇歸隊ス	篠中尉ハ隨行ス	二別紙左記命令ヲ下達ス
					一師團長ハ〇九〇〇ヨリ那霸護國寺ニテ舉行セラレタル軍		

遺骨

勤勞七初隊衛兵	代トイ原一等兵來隊副官部ニ於テ勤勞ス
待邊濠衛兵	荒井軍曹以下五名
飯村上等兵以下五名	
人馬數	人本日ニ於テ九人馬數
人員	將 校六 准士官三五 兵二九
	判任文官一 傭人四 計一五六
馬匹	日本馬一四

東京・八木岡附

第一六號

石兵團日日命令

一月二十九日 里

一 免副官勤勞 石第五九部隊 陸軍一等兵 徳田和男

命同 同 伊原松雄

頭書通石第一八二部隊勤勞ヲ免命ス

依而徳田一等兵八本二十九日晝食後原隊ニ復歸スベシ

配市光關係部隊

第三八號

部内日日命令

一月三十九日 里

衛兵隊 陸軍上等兵 梅田政治郎

石第五三二五部隊ニ入院ヲ命ス

陸軍上等兵 中田 實

調辨材料等領ノ為本二十九日ヨリ二泊ノ豫定ヲ以テ「霧」ニ  
出張ヲ命ス

一月三十日	曇	最高 二〇度	最低 一六度	首命 別紙左記命令ヲ下達ス	行 部内日日命令第ニ九號	作 業 三衛兵隊山本軍曹以下ニ十三名掩蔽部増強作業ヲ實施ス	第二期防疫 四師團司令部内ニ熱性疾患散發シアルヲ以テ別紙部内日命第ニ九號ニヨリ第二期防疫ヲ實施シ之ガ絶滅ヲ期セトス	入 院 五副官部勤務獨歩兵第ニ三八隊本間一等兵ハ診断結果熱發ノ疑ニテ第ニ六士師團防疫給水班ニ入院ス	六副官部山本曹長ハ二〇日機密書類道達ノ爲第ニ三軍司令部ニ到リ二〇日歸隊ス	七青山軍曹ハ隨時檢閲間助手トシ同行ス
-------	---	--------	--------	---------------	--------------	-------------------------------	---	---	--------------------------------------	--------------------

一師團長ハ隨時檢閲爲〇八三〇出發第ニ六士師團通信隊獨

歩兵第ニ三八隊野戰作井第ニ十四中隊ノ檢閲ヲ實施シ

一七〇歸隊ス

別紙左記命令ヲ下達ス

部内日日命令第ニ九號

部内會報第ニ一五號

業 三衛兵隊山本軍曹以下ニ十三名掩蔽部増強作業ヲ實施ス

第二期防疫 四師團司令部内ニ熱性疾患散發シアルヲ以テ別紙部内日

命第ニ九號ニヨリ第二期防疫ヲ實施シ之ガ絶滅ヲ期セトス

入院 五副官部勤務獨歩兵第ニ三八隊本間一等兵ハ診断結果熱發ノ疑ニテ第ニ六士師團防疫給水班ニ入院ス

六副官部山本曹長ハ二〇日機密書類道達ノ爲第ニ三軍

司令部ニ到リ二〇日歸隊ス

七青山軍曹ハ隨時檢閲間助手トシ同行ス

其ノ他ハ	「本三十日ヨリニロ屏東(台湾)ニシテニ四機侵入セリ」
勤	秀九 勤 二 月 三十日 週番下官 大野 軍曹
部隊衛兵	待違壕衛兵 岩見上等兵 以下五名
人馬教	日本日ニ於ケル人馬教
人員	將 枝六 准下官 二五 兵 二八
判文官	一 備人 四 計 一五五
馬匹	日本馬 一四

第二九號

部内日日命令

一月三十日 六〇〇 里

一 兵器勤務班 陸軍一等兵 井上隆三郎

二 陸軍上等兵ヲ命ス 陸軍一等兵 田中忠次 (一月二十一日附)

三 經理部勤務 陸軍一等兵 永田止郎 (一月二十六日附)

四 經理部 陸軍建技曹長 永田止郎 (一月二十八日附)

五 副官部勤務 陸軍一等兵 本間幸男

六 石第一八八部隊橋本隊ニ入院ヲ命ス 備人(ミシエ) 安和歌子 (二月十八日附)

七 依願解備ス

八 師團司令部内ニ熱性(チヌス性)疾患散發セルニ付左記ニ依リ第二期防疫ヲ實施ス

左記



- 1. 健康診断ノ實施
- 2. 食器ノ煮沸消毒
- 3. 常時濾過水ヲ水筒ニ入レ生水ノ飲用ヲ嚴禁セシム
- 4. 各室出入口ニ手洗水ヲ備付ケ手洗ヒヲ勵行ス
- 5. 外出先ニ於ケル指定飲食店以外ノ飲食ヲ嚴禁ス
- 6. 排便後ノ石炭撒布ヲ勵行ス

部内會報

一月三十日一六〇〇里

- 一 准士官以下(軍屬ヲ含ム)陸軍省令第六十號參照ノ上戸主タル者  
 返出スベキ資料トシテ左ノ如キ事項ヲ留守擔當者ニ通知スルモノトス
- 1. 徵集(初任官年)役種、兵種、官等、官等發令年月日
- 2. 部隊編入(入營、應召入校、軍屬採用等)年月日
- 3. 所屬部隊ハ通稱號ヲ以テ記入スルコト
- 4. 軍屬ニ在リテ身分(雇傭人ニ在リテハ其種類)月給(日給者ハ日給)額  
 及其ノ月給(日給)額發令(決定)年月日
- ニ 左記ニ依リ明三十日ヨリ當分ノ間又ハ口近ニ勤務兵ヲ管理班前ニ差  
 出シ野口准尉ノ指示ヲ受ケシメラレ度

左

記

- 差出區分
- 參謀部、副官部、暗號班
- 兵器部、管理班、衛兵隊
- 各兵二

經理部、軍醫部、倉防部、獸醫部より各兵一

- 2. 携行器具 大十字鉞又ハ大月匙
- 3. 晝食携行トス

三、熱性疾患散發、狀況ニ鑑ミ左記ニ依リ檢便ヲ實施ス

左記

- 1. 實地部(班) 參謀部、副官部、軍醫部、獸醫部、管理班通信所、
- 2. 提出日時 一月三十一日、九〇〇迄
- 3. 提出場所 醫務室
- 4. 採便用「セロファン紙」ハ三十一日ニシテ醫務室ニ於テ受領ノコト
- 5. 連名簿一部ヲ檢便提出時醫務室ニ提出ノコト
- 6. 糞便ハ拇指頭大ニシテ成ルベク新鮮ナルモノヲ採取ノコト
- 7. 脱漏者ナキ様特ニ留意セラレ度

水	月三十一日晴	一、師團長ハ要務ヲ爲シハ〇〇那覇ニ出張シニ〇〇歸隊ス
最高	一九度	二、衛兵隊山本軍曹以下ニ五名ヲ引續キ掩蔽部増強作業ヲ實施ス
最低	一四度	三、管理班野口准尉以下名後ヲ施設掩蔽壕構築作業ヲ實施ス
行首	事里	三、第二期防疫トシテ第一回檢便ヲ實施ス
防	疫	四、氣温
其ノ他		最高温度ニ〇度 最低温度一〇度 中旬ニ雨多ク下旬ニ入りテ比較的晴天多ク作業其他行事モ順調ニ進捗セリ、
		2. 被服狀況
		司令部附者ニ士日管理班ヨリ冬襦袢、袴下ヲ受領ス
		勤務者ハ各所屬部隊ヨリ受領シ月末ヲ以テ概ネ終了ス
		其他被服ハ經理部ニ於テ修理作業ヲ實施シ整備ニ勉メテ靴下襪布等ハ本月支給サレズ
		3. 給食狀況
		主食ハ六〇グラム副食ハ首里移駐以來野菜魚肉獸肉

六ニ補給内滑エザルモ乾物、罐詰類ヲ以テ之ヲ補ヒアリ  
加給品トシテ煙草ハ一週間ニニロ本 甘味品ハ管理班ニ於テ  
加工製造補給シテ現況ナリ  
之衛生

一月三日同五日ノ二回ニ亘リ赤痢豫防接種ヲ實施ス  
下旬ニ入り熱性疾患散發シタルニ鑑ミ一月三十日以降第ニ  
期防長ヲ實施ス熱發患者トシテ入院セシ者ニ名(綱井一 石)

勤 務五 部隊衛兵 石川軍曹以下五名  
待降壕衛兵 多田上等兵以下五名

入馬教大本日ニ於ケル入馬教

人員 將校六 准下官二五 兵二一八  
別隊員一 備人四 計一五五

馬匹 日本馬二四